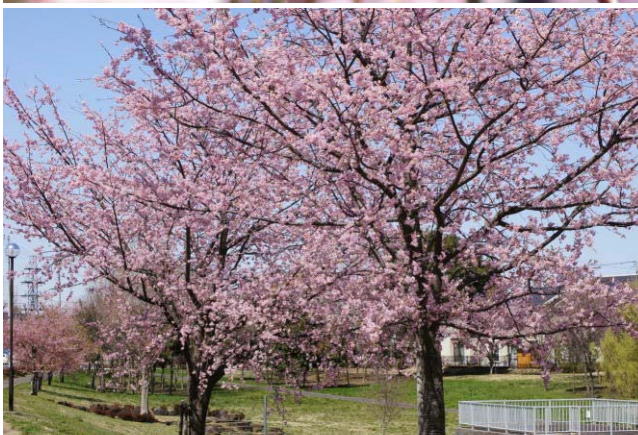


牛久：学校周辺に見る自然

第57号 ひたち野西近隣公園

2013年3月22日発行

< 水辺公園に春が来た！ ～木々の花が咲いています。>



咲き進むオオカンザクラと、花蜜を吸うヒヨドリ。

皆さん、こんにちは。今日は修了式ですね。この1年間、いかがでしたか？ 私は昨日、短時間でしたが水辺公園を歩いてきました。風はまだ少し冷たかったけど、陽ざしは暖かでした。ヒキガエルの産卵を見たくて1週間前にも歩きましたが、ぐんぐんとすごいスピードで春が進んでいるのを感じます。オオカンザクラも満開が近く、ヒヨドリがたくさん訪れて蜜を吸っていました。



満開のまんかいコブシ。雄しべや雌しべはいくつあるかな？花のつくりも観察してみよう。

コブシはもう満開まんかいでした。公園内にはけっこう何本もあることが、この時期じきになるとよく分かります。コブシなどモクレンの仲間げんしてきは原始的な植物といわれていて、花のつくりがかわっています。高いところに花がつくので難むずかしいですが、下に落ちている花などを手にとって、観察してみましよう。



雄花の集まり

雌花の集まり



アカシデやよく似たイヌシデいぬしでも咲き進んでいます。オスの花は穂ほのように集まって目だち、メスの花の集まりは小さめ。花を咲かせる植物は、桜さくらのように一つの花に雌しべや雄しべおしべ、花弁かべん、がくとそろっているものばかりではないのですね。皆さんも近くで咲いている花があったら、じっくりとながめてみませんか？ 【理科支援員 宮内】

おぼな めばな ほ
雄花, 雌花が穂のように集まるアカシデ(上)とイヌシデ(下)。